

007／カジノ・ロワイヤル (2006)

CASINO ROYALE

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス アドベンチャー

製作国 アメリカ／イギリス

色彩 Color

時間 144分

初公開日 2006/12/01

公開情報 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

映倫 G

【キャッチコピー】

最初の任務は、自分の愛を殺すこと。

【解説】

過去4作にわたってジェームズ・ボンドを演じてきたピアース・ブロスナンに代わり、新たに抜擢されたダニエル・クレイグ扮する6代目ボンドが初登場するシリーズ通算21作目。イアン・フレミングによる原作シリーズの原点『カジノ・ロワイヤル』を、本家シリーズとしては初の映画化。“007”として初めての過酷なミッションに挑む若きジェームズ・ボンドの活躍と“運命の女”との切ない恋の行方を描く。監督は「007／ゴールドエンアイ」「マスク・オブ・ゾロ」のマーティン・キャンベル。

殺しのライセンス“00（ダブル・オー）”を取得するため、昇格最後の条件である2件の殺害を実行したジェームズ・ボンドは見事ダブル・オーの称号を得る。そして、犯罪組織の資金源を絶つという最初の任務に乗り出すのだった。まずはマダガスカルで爆弾所有の男を追い、そこから世界中のテロリストを資金面で支えるル・シッフルなる人物が一連の案件に深く関わっていると判明。続いてボンドは、バハマ、マイアミで武器売人と航空機爆破の阻止に奔走し、いよいよル・シッフルへ辿り着く。すると、ル・シッフルがモンテネグロの“カジノ・ロワイヤル”で大勝負に出ることが明らかとなり、ボンドは更なる陰謀を阻止せんと現地へ向かうのだった。しかし、そんな彼のもとには、財務省からお目付役として美女ヴェスパー・リンドが送り込まれる。最初は彼女に対して懐疑的だったボンドだが、危険を共にする中で次第に心惹かれていく…。

【クレジット】

監督	マーティン・キャンベル	Martin Campbell
製作	バーバラ・ブロッコリ	Barbara Broccoli
	マイケル・G・ウィルソン	Michael G. Wilson
製作総指揮	アンソニー・ウェイ	Anthony Waye
	カラム・マクドウガル	Callum McDougall
原作	イアン・フレミング	Ian Fleming
脚本	ニール・パーヴィス	Neal Purvis
	ロバート・ウェイド	Robert Wade
	ポール・ハギス	Paul Haggis
撮影	フィル・メヒュー	Phil Meheux
プロダクション デザイン	ピーター・ラumont	Peter Lamont
衣装デザイン	リンディ・ヘミング	Lindy Hemming

『007／カジノ・ロワイヤル』
(東京創元社刊)

編集	スチュアート・ベアード	Stuart Baird	
音楽	デヴィッド・アーノルド	David Arnold	
テーマ曲	モンティ・ノーマン	Monty Norman	(ジェームズ・ボンドのテーマ)
主題歌	クリス・コーネル	Chris Cornell	
出演	ダニエル・クレイグ	Daniel Craig	ジェームズ・ボンド
	エヴァ・グリーン	Eva Green	ヴェスパー・リンド
	マッツ・ミケルセン	Mads Mikkelsen	ル・シッフル
	ジュディ・デンチ	Judi Dench	M
	ジェフリー・ライト	Jeffrey Wright	フェリックス・レイター
	ジャンカルロ・ジャンニーニ	Giancarlo Giannini	マティス
	シモン・アブカリアン	Simon Abkarian	アレックス・ディミトリオス
	カテリーナ・ムリーノ	Caterina Murino	ソランジュ
	イワナ・ミルセヴィッチ	Ivana Milicevic	ヴァレンカ
	セバスチャン・フォーカン	Sebastien Foucan	モロカ
	イエスパー・クリステンセン	Jesper Christensen	ミスター・ホワイト
	クラウディオ・サンタマリア	Claudio Santamaria	
	イザック・ド・バンコレ	Isaach De Bankole	
トビアス・メンジーズ	Tobias Menzies		